

2019年第11回教育委員会定例会 会議録

日 時 2019年11月26日(火曜日)午後4時40分～午後6時30分
場 所 北条農村環境改善センター 中研修室
出席者 別本勝美教育長、光村哉智代委員、徳岡幸裕委員、竹信純一委員、吉田由香里委員
説明等の出席者 大庭教育総務課長、杉本生涯学習課長、妻由図書館長、岡崎中央公民館長、
藤木室長、小田指導主事、浪花指導主事、中西指導主事、渡辺室長

会議の要旨

(開会)	午後4時40分
別本教育長	只今より、第11回教育委員会定例会を開催します。 会議録署名人です。事務局お願いします。
事務局	光村委員、徳岡委員お願いします。 (各委員了承)
別本教育長	行政報告について、教育長から報告します。 (資料により説明) ご質問等、ございますか。
徳岡委員	台風、水害、暴風等で、例えば学校で午後から休校にするという判断は、教育委員会の方から各学校の方に連絡をされるのですか。学童に行っている子どもは、学童へ行くという対応でしょうか。
事務局	学校に登校してから警報が出た時には、学校側と話をしながらですが、小学校ではタイミングを見計らって、雨雲の様子も見ながら集団下校としています。中学校の方も、早めに下校させたりしています。学童ですが、大きな災害の時には受け入れはしませんが、警報が出た時には受け入れをしています。
徳岡委員	とにかく午後から休校にするという話になれば、小中学校4校の休校の判断は、学校ではしないということですね。
事務局	そうですね。
竹信委員	各学校に、警報が出た段階でのマニュアルがあるはずですよ。
事務局	はい。
竹信委員	それに基づいて、教育委員会と相談しながらという格好ですよ。
事務局	そうですね。
別本教育長	事務局とも相談しながらですが、対応マニュアルがありますので、マニュアルに沿ってということです。小学校と中学校では、若干取り扱いが変わってきます。
徳岡委員	わかりました。
別本教育長	その他、ございますか。
竹信委員	その場合、スクールバスのこともありうるのでしょうか。
別本教育長	スクールバスになります。
竹信委員	地域の見守り隊の方にも連絡がいきますか。

事務局 家庭までですか。

竹信委員 そうですね。バス停から家庭まで、見守りで一緒に同行する方がおられます。その方へ連絡は入りますか。

事務局 バスへ乗られる方ですか。

竹信委員 違います。バスから子どもを降ろした時に、そこから自宅まで一緒に歩いて行かれる方が地域でおられます。そういう方に連絡は入りますか。

事務局 連絡のしようがないので、入りません。

竹信委員 町内放送は使えませんか。

別本教育長 集団下校での、町内放送はしていません。

竹信委員 特に離れたところだと、距離がありますので連絡が入った方が良いと思いますが。

別本教育長 どなたがそれをされるのか、特定をしているわけではありませんので、わからないと思います。心配であれば、保護者には常にマチコミメールで連絡をしていますので、保護者の方が迎えに行かれる、ということはあるかもしれません。

竹信委員 難しいですね。

別本教育長 その他ございますか。(なし)

続いて各課から、報告をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 各課からの報告は以上です。教育総務課関係で、ご質問等ございますか。

徳岡委員 大栄中学校の授業エスケープは、その授業だけですか。それとも何時間もでしょうか。校内なのか、校外まで出ていたのでしょうか。どの程度の、エスケープでしょうか。

事務局 校内で教室に居られなくて出てしまい、級外の職員が個別に対応している状況です。

徳岡委員 2件ということは、2回ということでしょうか。

事務局 2人です。

徳岡委員 2人が、よく出てしまうということですか。

事務局 はい、そうです。

徳岡委員 わかりました。

別本教育長 その他、ございますか。

光村委員 コミュニティ・スクールの件ですが、各中学校区に別れて、「熟議」体験を行ったとのことですが、どのような体験をされましたか。

事務局 大栄中学校区、北条中学校区に委員さんが別れて、どういった子ども達を育てたいのか、大栄中学校区の良いところはどこなのか等を、皆でいろいろな意見を出して、議論をするということを体験しました。

光村委員 それが、体験ということですか。

事務局 はい。

光村委員 それについて今後どういうことをしていくのか、具体的な取り組みを話し合っていくということですか。

別本教育長 熟議体験ですので、話し合ったことを実践に移していくということではなくて、こういうような議論の仕方をしますよということですよ。

光村委員	そういう意味ですか。
竹信委員	コミュニティ・スクールの当初は、各学校ということで把握をしていましたが、どうして中学校区という風に形が変わったのでしょうか。
事務局	関わる方が重なるということもありますので、そこが大きいのではないかと思います。
竹信委員	確かに重なる部分もありますが、小学校と中学校では、それぞれの課題があるのではないかなと思います。視察した伯耆町は、それぞれありますよね。どちらが良いのかなと思いますね。そういう風なことが良いということであれば、メリットを全面に出しながら、メンバーを決めていくような形にする必要があるかなと思います。
別本教育長	最初はそれぞれの校区ごとということで動き出しましたが、議論していく中で15の春に、どういう子どもに育てたいのかということは、小学校の時にはこれで良い、中学校の時にはこれで良いということにはならないので、共通の応急のために小学校ではどういう関わり方をしていく、中学校ではどうしていくのか、とした方が良いのではないかと、いろいろな方々の話を聞く中で、大栄中だけは最初にスタートしていきますが、大栄小はそれに合流、北条中は最初から1本で進めていくのがよいのではないかとりました。いろいろな話を聞く、南部町でも中学校区になっていますし、境港では最初から、中学校区になっています。良いところは、真似た方が良いのかなというところです。
竹信委員	大栄中学校が最初にされますが、当然委員も委嘱されますよね。小学校がそれに合流するとなると、委員自体はプラスαでいくのか、若干改選をしてされるのでしょうか。人数を増やしていく、ということでしょうか。
事務局	それぞれの中学校で15名以内、小学校でも15名以内になると、またその中で重なる部分があったりするので、小学校に移行する時にバランスを取りながら、おそらく活動は変わっていきますので、学校運営協議会のメンバーは若干変わりますが、中学校の母体を基に考えていく、という形になると思います。
竹信委員	わかりました。
別本教育長	その他、ございますか。(なし) 生涯学習課関係で、ご質問等ございますか。(なし) 図書館関係で、ご質問等ございますか。(なし) 中央公民館関係で、ご質問等ございますか。(なし) 行政報告は以上で終わらせていただき、5議案へ入りたいと思います。 議案第46号 北栄町教育委員会教育長職務代理者の指定について、説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
別本教育長	光村委員にお願いしたいと思います。
光村委員	はい。
別本教育長	議案第47、48号 指定管理者の指定の議会提案に係る意見を求めることについて、説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
別本教育長	議案第47号についてご質問等、ございますか。(なし)

議案第 47 号、承認でよろしいでしょうか。(承認)

議案第 48 号についてご質問等、ございますか。(なし)

議案第 48 号、承認でよろしいでしょうか。(承認)

6 協議事項へ、入らせていただきます。

令和 2 年度教育委員会予算編成方針及び重点項目について、説明をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 まず、基本目標 I 「子育てなら北栄町」の取り組みについて、ご質問等ございますか。

竹信委員 こども園の通級指導教室の開設で、保育士さん、保健師さん、臨床心理士さんを雇用するということですか。そして、巡回でそういう子どもに対応していかれるのでしょうか。

事務局 健康増進センターの会議室を、今掃除しているところですが、1 箇所部屋を設けて、保護者に連れて来てもらって、通所していただくという形になります。

竹信委員 そうするとこの方は、ずっと在中しているということですか。1 年間雇用している、という格好になりますか。

事務局 保健士は、おそらく発達支援室担当の保育士になると思います。非常勤という形で、臨床心理士さんにはお願いする予定にしております。保健師は、健康推進課の協力が得られればと考えておりますが、まだ未定です。

竹信委員 保育士は改めてではなくて、先生がされますか。例えばその仕事を重点的にすると、他に動きづらくなる等が出てきませんか。例えば毎日ではないけれども、小学校の通級指導教室をイメージすると、ターゲットは広いので次々対象の子どもがいます。町内の 4,5 歳児に限定をしていますよね。

事務局 教室自体は、最大でも月 2 回です。1 回の教室で、事前準備等がありますが、毎日あるわけではありません。

竹信委員 ある子どもについて、週 1 回来て下さい、という感じではないということですか。

事務局 1 人ずつではありません。

竹信委員 そうなんです。たくさん回数になると大変ですし、専門的な研修等を受けられて、治験等がある方でないといけませんね。発達支援システムの構築は継続ですが、例えばこども園から対応していきながら、こういう子どもがいますということで、教育支援計画で作成して引き継いでいきますが、きちんとしたパソコン上にカルテをもって、ずっと上がっていくことはされていますか。

事務局 していません。紙ベースでの引継ぎは、ずっとしています。データとしてまず園になりますが、園から学校ということは引き継いでおりません。

竹信委員 鳥取市では、していませんか。引継ぎは、こども園～小中学校で良いですが、その子どもさんの年齢がどんどん上がっていくにしたがって、発達がどういう風に変わってきているのかというのを、教育委員会としても掴んでおくの良いと思います。子どもの成長過程を、きちんと把握しておくという意味では、発達支援システムの構築の中に、入れ込んだ方が良いような気がします。

事務局 今現在、平成 27 年 1 月以降に産まれたお子さんについては、保護者さんに同意書

を書いていた上で、健診結果等を健康推進課、福祉課、教育総務課が見れるシステムで、全てデータを保管させていただいております。それ以前に産まれたお子さんは、同意書がありませんので、教育相談等の機会に保護者にお会いして、支援計画等をつくっておられる方も含めて、同意をいただいた上で入力しています。5～10年くらいはかかるかと思います。

竹信委員 大変かと思いますが、後は学びも入れていくと、きちんと捉えていくことができるなと思います。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

光村委員 基本目標Ⅱ「教育なら北栄町」について、ご質問等ございますか。

別本教育長 ②豊かな心と社会性を育む教育の推進の、新規の湖南省市学校交流の実施と、推進の違いは何が違いますか。

光村委員 ②豊かな心と社会性を育む教育の推進の、新規の湖南省市学校交流の実施と、推進の違いは何が違いますか。

別本教育長 推進というのは、いわゆる研究とかどうやったらできるのかということを、勉強していくことですが、今度は実際にしましょう、ということです。

光村委員 学校同士の交流ですか。

別本教育長 はい、そうです。

光村委員 小、中学校両方ですか。

別本教育長 そこはまだ決めていません。今は港区と大栄中学校がしています。

光村委員 修学旅行の時に、行ったりとかですか。

別本教育長 はい。必ずしも、行って交流することを想定してばかりではなくても、ネット上での交流等もできます。

光村委員 推進という段階があったわけですから、ある程度検討をされたということですよ。

別本教育長 具体的なことはまだしていませんが、とりあえず今年の夏に湖南省市へ私が伺って、向こうの教育長へ「やりましょうよ」と伝えて、向こうの方も「やりましょう」とのことでした。まだ、それぐらいのことです。

光村委員 そうですか。

竹信委員 ①確かな学力を育む教育の推進の中に、ICT支援員さんのこともですが、プログラミング教育について視察に行ったところですが、学校現場から教材を購入して欲しいと、挙がってきませんか。

別本教育長 12月に入ってから、来年度の各学校の予算要求のヒヤリングがあります。その時に、挙がってくるのではないかと思います。今年でも先行的に、準備しないといけない物等があれば、言って下さいと伝えましたが、何も挙がってきていません。

竹信委員 取り組んでいかないといけないことだと思います。

別本教育長 プログラミング教育は必ずしも、コンピューターを使用しないと、できない教育ではありません。例えばロボットの使用等をせずに、やるやり方もあります。どういうやり方を、学校が想定しているのかということになります。教育委員会としては、これをやりなさいということまで示していません。

竹信委員 わかりました。教員業務アシスタントの配置は、メリットはありましたか。1日勤務ですか。

事務局 半日です。

竹信委員 半日の間、何もすることがないではいけないので。助かっているという状況です

か。

事務局 印刷物等の仕事や、教頭先生が指示をされていると思います。

竹信委員 例えばそういう方に、個人の文書の入力、通知表とは言いませんがお任せしても良いのでしょうか。こういう文言をということを打ち込んで、個人情報もやってもらうとなると、仕事がたくさんあるなあと思います。

別本教育長 全然問題ないと思います。

事務局 ICT支援員さんの方が成績表に入れる段取りを組んで、それを整頓して昨年担当が打っているという形で、分担をしているという形になると思います。

竹信委員 そうするとICT支援員さんも、業務アシスタントの方もできるということであれば、担当の業務量が教材の研究等いろいろなことに向かえますね。大変助かるかなあと思います。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

吉田委員 ③健やかな体を育てる教育の充実の中に、給食費の町補助とありますが、何故町の補助にして、保護者の負担を増やさずにされましたか。未納の方も多いと伺いましたが、もしも未納の方のことを言われるのであれば、こういった未納の方の、所得に応じての補助みたいなどころにも、使えるのではないかという話も、出てくるのではないかなと思います。財政的には、町補助で良いのでしょうか。

事務局 町長と協議をさせてもらって、特に中学校では 10 円値上げすると、中部の中でも一番高くなるという状況ですし、小学校は今安い中ではありますが、挙げると琴浦に次いでやはり高いというところがあります。琴浦では補助があります。倉吉でも第3子以降に返納があります。東西部にいきますと、補助をしているところがあります。中学校になると試験等もあり、その辺については今回の町会計の方で、見ましようということになりました。

吉田委員 初めてですか。

事務局 初めてです。

吉田委員 これから先も上がっていくことが考えられるのに、また町の補助で賄うということですか。

事務局 その時の財政での話になります。

吉田委員 今は、町で賄えるのでということですね。

事務局 はい。

別本教育長 今回は消費税も上がった時だということもあり、保護者の方、町民の皆様にも負担が増えたということもありますので、支援をしていこうということです。滞納については、昨年度、今年度とも滞納はありません。残っているのは過年度分ですが、それも給食センターの職員が、頑張って徴収を進めています。かなり減ってきています。そこに町費をつぎ込むという考え方ではありません。

吉田委員 わかりました。

徳岡委員 学校長の裁量予算というのは、4 つありますが、どのくらいの規模を想定されていますか。

別本教育長 竹信委員からもそういう話はありませんが、そこまで具体的にはありません。

竹信委員 来年度の取り組みについては、今の校長さんが考えられるわけですよ。これに力

を入れたいから、そのためにはこの教材が必要だということを教育委員会が全部考えて、というよりも自分が自ら学校をより子ども達が力をつけるために、こうしたいんだということに、裁量として予算を組んだらどうかということです。

- 徳岡委員 別に4つ平等ではなくて、その中の1つでも良いということですね。
- 別本教育長 4つともするという考え方ではなくて、プレゼンをしていただいて、一番良いところの学校1校にということです。
- 竹信委員 良いと思いますよ。
- 別本教育長 まだこれから要求する段階ですので、通るかどうかはわかりません。
- 徳岡委員 そういう主旨だったら、良いかもしれませんね。
- 別本教育長 その他、ございますか。(なし)
- 竹信委員 基本目標Ⅲ「住み続けるなら北栄町」について、ご質問等ございますか。
- 竹信委員 前回の講演会で、齋藤孝先生が壇上で北栄町は、絵本を中心として広げていくと言われました。図書館だけが一生懸命やっておられますが、もっとそれを全面に出すようなことはできないのかなあとと思います。アイデアがもう少しあると良いなあとと思います。せっかく齋藤先生も言っておられたので、他の課と協力しながら出していくと良いなと思いました。
- 吉田委員 私も少し思いました。柳田邦男さんが5年連続で来られているのは、何故だろうと思っていました。今のこれを見て、絵本を進めたいんだというのがわかりました。意図が伝わってこないところがまだあります。中学校で講演だけ、図書館で講演だけとなると、広がりが確かにありません。
- 事務局 図書館としては、そこが一番弱いところです。もっと広げていきたいのですが、子育て関係施設と言いますか、こども園さんに絵本を巡回したりですとか、役場に絵本を置いてみたり、町長室には町長のおすすめ絵本を置いてみたり等、やってはいますが中々です。いろいろなところと連携しながら、やっていけたら良いなあとという思いはあります。後は、学校の司書の方にもとは思っています。
- 吉田委員 アピールの仕方は何だと思えますか。
- 光村委員 今は、移動図書館はありませんよね。前はありました。結構図書館に行けない人、車に乗れない人、お年寄りでもやはり本を読みたい人はおられます。
- 事務局 平日走っているので、利用がないというのはありました。
- 竹信委員 いきいきサロンとか、毎月2回されています。そういう時は必ず人は集まります。絵本とは言わず、本をね。絵本に特化して、絵本の最先端はどこですか。やはり視察に行ったり、いろいろなところの情報を集めて、新しいのが良いわけではなくて、最先端を取り込んでいけたらなと思います。
- 吉田委員 それなら絵本ではなくて、マンガを中心にした町づくりの方が、PRはしやすいのかなと思います。どんっとPRとなると、観光とか別の意味での繋がりが出てくるので。
- 事務局 コミュニティ・スクールをこれからしていくということで、小学校でいう、読み聞かせ部みたいなものが立ち上がっていったとしたら、そういったところで子ども達からどんなことをしたら楽しいのか、本に親しむような形でどういうことができるのかなということが、多分そこで話があったりすると、図書館とかを巻き込みながら、図書館司書とかそういう人が、集まって議論ができてということが、理想の形にはなるのか

事務局 と思います。

事務局 おっしゃるように、5年目であまり浸透していないように一見、見えるということは見せ方としては、課題があるとは思っています。町報、町放送、各施設でいろいろな取り組みをされていて、一步一步広がっている部分も着実にあります。見せ方をもう少し工夫をしないといけない、ということが一つ間違いなくあると思っていますし、各こども園さんと連携を取る取り組みはしていますが、それぞれは一生懸命やって、それが一つの形に見えていないということは、ネットワークの取り方の課題があるのだろうなということも一つあります。去年は認知症予防講演会というのを地域包括支援センターと図書館が連携して、絵本というのが認知症予防にも、非常に効果がある、プラス音読という意味でも効果があるということで、少し逆に見えにくくなった部分もありますが、絵本と音読教室をセットにして、絵本を声に出して読む、ということも含めて浸透させます。そういう意味で言うと、音読教室の出前は17自治会に伺っています。いきいきサロンにも積極的に出ています。一方セラトピアやサントリオンさんでも、そういう仕掛けをしてそこの介護補助員さん、職員さんが絵本の読み聞かせや、音読をしているということも実際に継続して行われています。そこに絵本の配刊もしています。中学生にしているというのは、中学生に絵本は大事だよ、絵本は人生に3度意味がある、ということを柳田邦男先生が言っていて、それをこちらが実践した取り組みを進めて、各世代に絵本をとすることは、今徐々に広まっているところです。ご意見をいただいたことを踏まえて、もう少し見せ方というのを、全体的にイメージできるようにしないと、いけないのだろうなあと思いました。なかなか図書館という規模で、全体を巻き込むということは、難しい面もあります。もう少し町全体で、共有できる部分はうまくしていかないといけないかなあというのは、今後の課題として考えていきたいと思っています。

別本教育長 その他、ございますか。(なし)

事務局 予算編成方針及び重点項目は、12月4日の総合教育会議で、町長と再度議論していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

事務局 北栄町明るい選挙推進協議会委員の推薦について、説明をお願いします。

事務局 (資料により説明)

別本教育長 吉田委員さん、よろしくお願い致します。こちらからの協議事項については以上ですが、皆さんの方から何かございますか。

事務局 議会への説明がもう1点ございます。資料5についてです。第2期北栄町子ども子育て支援事業計画の概要について、説明したいと思います。

別本教育長 (資料により説明)

別本教育長 ご質問等、ございますか。

竹信委員 第2回のパブリックコメントは、町報あるいはホームページ上に提示されますか。

事務局 はい。町放送でもします。

竹信委員 ホームページ上でなくても、そこで入力できますか。

事務局 確認しておきます。

竹信委員 わかりました。

別本教育長 その他、ございますか。

竹信委員	協議ではありませんが、こども園を計画訪問で行かせていただいた時に、アレルギー対応をしないといけない子どもについて、調理士さんが休んでおられてということで、おやつ時間に誤って、ということがありました。実はニュースで大阪の箕面市が、食物アレルギー等に対応した給食ということで、玉子、牛乳、乳製品、えび、カニ等を既に提供しているとのことでした。ただ単価は高いですが、数が数なのでかなり抑えられたということです。アレルギー対応の子どもは、実際に実数はわかりませんが、それなりに増えてきているような気はします。誤ってということが、できるだけ起こらないように、あるいは別食をその子だけ、作る等が良いと思いますが、手間がかかります。今後はそういう風なことが、必要ではないかと思います。実際にネットでしか見ていないので、わかりませんが、一度誰か行かれてそういう風な動きを、情報として入手してどうしたら良いのかというのを、考えていった方がいろいろな間違いが、起こらなくなるのではないかなと思います。
別本教育長	いただいた情報は、研究してみたいと思います。その他、ございますか。(なし) 7 報告へ入らせていただきたいと思います。 町長と中学生の町行政に関する意見交換会について、説明をします。 毎年行っていますが、本町では中学生議会というものは、実施していません。中学生議会になると、一部の生徒だけにという形になってしまいます。みんなで共有するというので、学年で町長と語る会は行っています。北条中では12月17日、大栄中では12月19日に行います。時間がつきましたら、見学にお越し下さい。何時からでしたでしょうか。
事務局	北条中は1年生が、14時から15時頃までです。大栄中は2年生が、10時50分から12時過ぎまでです。
別本教育長	教育委員視察の時に、明日香村であったことを本町ではということで、生活習慣と、運動能力の関係についてということで資料を作成しました。説明をお願いします。
事務局	(資料により説明)
別本教育長	運動能力との関係について、分析した結果を報告させていただきました。期待した答えではありませんでした。結果的には残念な結果でした。
竹信委員	ちなみに大栄小学校の児童は、県平均ではどうですか。
事務局	それぞれ県と同じような形で、20mのシャトルランは高く出ていますが、やはり柔軟性に課題があります。だいたい県平均です。
徳岡委員	学校訪問に行った時に、昼休み走っていましたね。だから通学だけでは何とも言えないかもしれません。
別本教育長	報告としては以上です。皆さんの方から何かございますか。(なし) 8 その他(説明)
	次回定例会の日程 12月26日(木)9時30分から

以上で、第 11 回教育委員会定例会を閉会いたします。

(閉会) 午後 6 時 30 分

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員